



敷地内に新たな工場を建設

㈱熊本玄米研究所と工場立地協定を締結

8月21日に、㈱熊本玄米研究所、親会社の㈱中九州クボタ、関連会社の㈱南九コーポレーションと町で工場立地協定書を締結しました。

㈱熊本玄米研究所は、玄米ペーストおよびペーストを使用したパン・麺を製造する企業で、新棟を建設しグルテンフリー玄米パンの生産機能を強化します。

㈱熊本玄米研究所の西山忠彦社長は、「町の健康づくりや米の消費拡大に取り組んでいきたい」と話しました。



握手を交わす㈱熊本玄米研究所の西山忠彦社長(中央)

姉妹都市との絆

屋久島町子ども交流会

菊陽町の子どもたち29人が8月16日～19日までの4日間、鹿児島県屋久島町を訪問しました。姉妹都市である屋久島町とは毎年交互に子どもたちが交流のため訪問しています。

18日には屋久島の子どもたち15人と一緒にレクリエーションや海水浴をして交流を深めました。

参加者からは「屋久島の子どもたちが菊陽町に来るときは交流会にまた参加したい」「屋久島の友達ができてとても楽しかった」などの感想がありました。



白谷雲水峡での子どもたち(2日目)

ひまわりの絆プロジェクト

命の大切さと交通安全を呼び掛け

「ひまわりの絆プロジェクト」として菊陽自動車学校と県警などが協力して5月に種をまいたひまわりの開花に合わせ、交通安全キャンペーンが8月4日にさんふれあで行われました。

同キャンペーンは菊陽町夏まつりに合わせて開催し、多くの来場者が集まる場で反射材や特製のコースターなどを配布。大津警察署の担当者は「このプロジェクトを通じて命の大切さに気付き、交通事故防止に努めてほしい」と話しました。



ゆっぴーも来場者に交通安全を呼び掛けました

地域の連携を目指して

菊陽町地域婦人会第7回夕べのつどい

菊陽町地域婦人会(酒井恵会長)主催の第7回夕べのつどいが7月14日、さんふれあで行われました。

つどいでは町長、町議会議員のあいさつの後、ひなもと 船元香さん(光7町内)の活動発表、ひなもと プードル雅子&ピエロンによるマジックショーがありました。交流会では、婦人会会員と町幹部、町議会議員と活発に意見が交わされました。また、会場では西日本豪雨被災地への募金活動も行われ、集まった募金は日本赤十字社を通じて被災地に寄付されました。



活動発表をする船元香さん

練習の成果を発揮

第31回熊本県消防操法大会

第31回熊本県消防操法大会が9月2日、山鹿市カルチャースポーツセンター第1駐車場で開催されました。晴天の下、各郡市支部の予選を勝ち抜いた代表チーム(小型ポンプの部26チーム、ポンプ車操法の部14チーム)が優勝を目指し熱戦を繰り広げました。

本町からは、小型ポンプの部に第4分団第4班(馬場班)が出場。惜しくも入賞は逃したものの練習の成果を発揮し、会場に応援に来た多くの地元応援団の前で素晴らしい操法を披露しました。



大会に出場した第4分団第4班(馬場)の皆さん

自分のプログラムでロボットが動く!

小学生プログラミング体験教室

県立技術短期大学校で8月28日、菊陽北小学校6年生児童を対象にプログラミング教室が開催されました。子どもたちは画面上の猫を動かすソフトや、行動パターンを記憶させた「プロロボ」と呼ばれる車のロボットを動かしてうまくコースを走るよう設定する活動を通じてプログラミングの基礎を学習。県立技術短期大学校の中村誠希副校長は「2020年度に小学校でプログラミング教育が必修化するので、学校での教え方にも生かしていただければ」と笑顔で話しました。



どうすればうまくコース上を走るかな

世界の舞台で勝ち取った

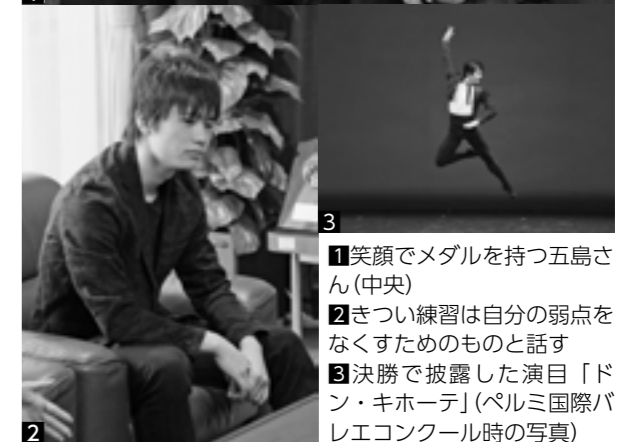
五島温大さんがバルナ国際バレエコンクール2位入賞

本町出身でドイツ在住の五島温大さんが、ブルガリアで7月に開催された世界三大バレエコンクールの一つであるバルナ国際バレエコンクールのジュニア男性部門で2位に入賞し、8月24日に入賞報告のため町を訪問しました。

五島さんは6歳から本町のユリコバレエスタジオに通い、現在はドイツのベルリン国立バレエ学校に留学する18歳。学校では通常の授業を行った後、夕方からバレエの練習を行うため、ときには朝5時までにリハーサルをすることも。しかし五島さんは「バレエの練習を嫌だと思わない」と話します。

ユリコバレエスタジオ主宰のたのうえ 田上由里子さん(新町西)は「バレエが上達するのは体の条件だけでなく心の条件も重要。温大は賞を取ることが目的ではなく、踊ること自体が好きで練習を続けていた結果として賞が付いてきたのだと思います」と話しました。

五島さんは「9月から学校の最終年度が始まるので、オーディションでいい結果を残し、卒業後はプロのバレエダンサーとして活躍したい」と前を見据えました。



1 笑顔でメダルを持つ五島さん(中央)

2 きつい練習は自分の弱点をなくすためのものと話す

3 決勝で披露した演目「ドン・キホーテ」(バルナ国際バレエコンクール時の写真)